

北海道庁 玄関ホール

道庁の玄関ホール及びエレベーターホールを、道産木材(HOKKAIDO WOOD)を利用した「北海道らしさ」を感じることのできる木質空間に。

ロビーの木質化にあたっての思い

道では、日々多くの方が訪れる北海道1階ロビーを、北海道産木材(HOKKAIDO WOOD)を利用した魅力的な空間にすることで、より多くの道民や企業の方々に、道産木材の良さを見て、感じて、知ってもらうことを目指しています。

まずは、玄関ホールの柱とエレベーター入口の木質化が2021年7月に完成し、「温かみがある」「木のよい香りがする」などの声をいただいているいます。

ロビーの木質化にあたっては、道産木材製品をPRするブランド「HOKKAIDO WOOD」のブランドイメージに沿った、「北海道の豊かな大自然」や「北海道らしさ」を感じさせる木質空間となるよう、提案していただきました。

北海道の樹木の多様性や、手触り・木目の違いなどを感じることができる、木材と大理石が調和したロビーになっています。



株式会社 遠藤建築アトリエ 社屋



吹抜けの柱まわりのデザイン

開拓以降の努力があって、今の北海道は非常に豊かな時代を迎えようとしているのではないかと感じます。一言でいえば「生命力とこれからの北海道の豊かな未来」を表現したいと思い、この厳かな空間に何を加えたら「木」が生きるだろうと考えました。木が持っている有機的な優しさや柔らかさが、螺旋状に上方に開いていく形にすることで、人間でいうとDNAのイメージに重なり、また北海道のこれからのお可能性を表現できるのではないかと思いました。



遠藤謙一良さん
一級建築士事務所
株式会社遠藤建築アトリエ
代表取締役

玄関ロビー木質化の実施設計の受託者である遠藤建築アトリエ 代表取締役の遠藤氏に、木質化に対する思いを伺いました。

北海道庁の凛とした厳かな空間において、そこに訪れる人、そこで働く人、全ての人々が「北海道の豊かさ」をもう一度実感できるようなことを目指しました。木の有機性や素材感を活かすようなデザインにしています。

一番大事なところは、「手が触れる場所に木が

あること」をとても意識したことです。木は家具であったり、内装材であったり、さらには構造材まであります。その中間的なものも造作として作ることができます。防火に関して制限がある中、その法律を遵守した上でできる様々な形を表現させていただきました。



問合せ先 北海道水産林務部 林務局林業木材課利用推進係
TEL.011-204-5492

エレベーターまわりの表現

北海道で流通する木のうち、馴染みがある、良く目にするような樹種を8種類選び、8機あるエレベーターの扉まわりにプレートとして貼り付けました。プレートにはその木の名称と英語表記、大体の樹齢を書いてあり、節があったり、木そのものにも個性があることを伝えたくて、真近で見られる場所に設置しました。木の個性を普段から身近に感じていただきたいということです。



12F

B1

←

B2

←

B3

←

B4

←

B5

←

B6

←

B7

←

B8

←

B9

←

B10

←

B11

←

B12

←

B13

←

B14

←

B15

←

B16

←

B17

←

B18

←

B19

←

B20

←

B21

←

B22

←

B23

←

B24

←

B25

←

B26

←

B27

←

B28

←

B29

←

B30

←

B31

←

B32

←

B33

←

B34

←

B35

←

B36

←

B37

←

B38

←

B39

←

B40

←

B41

←

B42

←

B43

←

B44

←

B45

←

B46

←

B47

←

B48

←

B49

←

B50

←

B51

←

B52

←

B53

←

B54

←

B55

←

B56

←

B57

←

B58

←

B59

←

B60

←

B61

←

B62

←

B63

←

B64

←

B65

←

B66

←

B67

←

B68

←

B69

←

B70

←

B71

←

B72

←

B73

←

B74

←

B75

←

B76

←

B77

←

B78

←

B79

←

B80

←

B81

←

B82

←

B83

←

B84

←

B85

←

B86

←

B87

←

B88

←

B89

←

B90

←

B91

←

B92

←

B93

←

B94